

第69号

ボーイスカウト
旭第1団

運動拡大委員会

ホームページアドレス <http://www.scout-asahil.org/>

8月30日 上進式



スカウト

活動の

一年間

団委員長 新行内正巳

今年も一年間の行事を完了し、上進式を迎える事ができました。スカウト活動のだいご味は何と言っても夏休みを利用した野外活動、舎営・キャンプです。一年間の集大成、年間計画に沿って隊指導者が指導してきた知識や技能・体力を踏み台に、各隊特徴のある楽しいダイナミックな活動が展開されました。保護者の皆様も一回り大きく成長したスカウトの活動ぶりを見て満足なされたことでしょう。

スカウト活動は青少年の年代に合わせた隊編成のもと、研修を受けた指導者が、ボーイスカウトの教育規定を基盤とした年間プログラムに基づき、スカウト達に興味ある愛情のこもった活動を安全優先に提供しています。そのプログラムは月を追って、年を追ってスカウト達の成長に寄与しています。保護者や地域の方々のご理解と、隊指導者・団委員の情熱あるスカウト運動、皆様も是非参加してみませんか。

ビーバー隊



楽しい 隊集会

たのしかったたいしゅうかい

小林 莉久

たいしゅうかいで、一ばんたのしかったことは、ぎょうぎ作りです。ぎょうぎをにぎるのが、むずかしかったけど、じょうずにできました。お友だちのぎょうぎもたべたけど、みんなおいしかったです。こんどお父さんに作ってあげたいです。

ザリガニつり

ながしま あもん

ほくは、2かいザリガニつりにきました。

1かい目はがっこうでいきました。このときは1びきもつれなかつたけど、こんかいは39びきもつれてうれしかったです。またつりにいきたいです。

たいしゅう会の思い出

川畑 晃大

ほくがたいしゅう会で、一ばんたのしかった思い出は、たちばなふれあい公えんでやったざりがにつりです。

自分で作ったつりざおをつかってやりました。さいしょはすこしむずかしかったけど、だんだんやりかたがわかってきてつれるようになりました。ちいさいざりがにや大きいざりがに、ぜんぶで30びきいじょうつれました。

これからも、しぜんの中で、いろいろなたいけんをしていきたいとおもいます。



楽しかったザリガニつり

石橋 光稀

ほくは、たいしゅう会の中でザリガニつりが一ばん楽しかったです。6月のたいしゅう会は雨になってし

まい、ザリガニつりができなくて、とてもざんねんでした。でも、たい

長からザリガニの話の聞いたり、みんなザリガニつりのさおを作りました。ほくは、お父さんと作りました。7月、楽しみにしていたザリガニつりができました。いっしょにさなかした妹にもザリガニを見せることができました。みんなむ中でザリガニつりを楽しみました。また、らい年もみんなザリガニつりをしたいです。

たのしかったザリガニつり

きうち ゆうた

一年間でいろいろなことをしました。その中で一ばんたのしかったのは、たちばなふれあいこうえんでやった、ザリガニつりです。

ことしもおとうさんがいっしょにきてくれてとてもうれしかったです。むずかしかったのは、えさのイカにザリガニがくいついて、つりざおをもちあげるときにはすのはっぱにぶつかっておちてしまったり、にげられたりしたことです。またカブたいでザリガニつりをしたいです。

ビーバーたいの思い出

くぼ田 しゅうすけ

ほくがビーバーたいに入っている間は、たのしかったことは、ザリガニつりです。つりざおもじぶんたちで作りました。ほくは、27びきもつり

ました。こんなにつれて、いけの中にはたくさんザリガニがいるんだなあと思いました。

電車にのつてお出かけもしました。はじめてじぶんできつぷをかいました。とてもたのしかったです。カブたいになつても、いろいろなことにならばいいです。



たのしかったザリガニつり

とくなが しょう

ほくがビーバーたいに入つて一ばんの思い出が、たちばなふれあい公えんでのザリガニつりです。

みんなて手づくりのサオをつくり、そのサオの先端にイカをつけてつけました。たくさんつれました。ほくも母も、はじめてのたいけん、おやこでむちゅうになつてつりました。

のさかの公えんでのドッジボール
 もたのしかったです。ほくは、から
 だをうごかすことが大すきです。
 カブへ行ってもいろいろなこと
 ちようせんしてがんばりたいです。



新入スカウト

楽しいザリガニつり

すがや そら

ザリガニつりがとても楽しかったよ。パパがつりざおを作って、パパとぼくで20びき以上つりました。たくさんつれたのでうれしかったよ。そして、帰るときに、ザリガニをもとのいけにもどしました。また、ザリガニつりがやりたいな。さかなつりやふねにもつてみたいなあ。

ザリガニつり

すがや なおゆき

6がつのたいしゅうかいは大あめで、ザリガニつりができなくてざんねんだった。

つりざおをつくったよ。

7がつがまちどおしかったよ。

7がつのたいしゅうかいのはれて、ザリガニつりができたよ。

20びきつった。

こうえんには、はながいっぱいさい

いてきれいだった。

これからのよていに、でんしゃに

のるがあるので、それがたのしみ

です。



たのしかつたたいしゅうかい

のもと まなみ

のもと こうたろう

たいしゅうかいはどれもたのしかつたです。一ばんは、ざりがにつりです。

楽しかったザリガニつり

やまぐち るな

わたしがボーイスカウトにはいつたのは、たのしそうだとおもったからです。それはけんがくでいったざりがにつりがたのしかつたからです。ボーイスカウトにはいつたら、またざりがにつりや、えをかいいたり、いろいろなことちようせんしてみたいです。がんばります。

元気に遊びました!

【25年】

9月 上進式

カントリー大作戦

10月 団集会

球根植え

11月 ビーバーランド

募金・スカウトの集い

12月 クリスマスの工作

【26年】

1月 親子ゲーム大会

2月 ぎょうざ作り

3月 県民の森ハイキング

4月 チューリップ祭と

ドッジボール

5月 電車でGO! 猿田神社

6月 釣竿作り

7月 ザリガニつり

8月 マイ巾着袋作り



カブ隊

《一年間の思い出》

楽しかったカブホリデー

しか 西 裕呂斗

ぼくは、2泊3日のキャンプをしました。まず、文治という宿に行つて、その後、海に行きました。貝をいっぱいひろいました。

2日目に、いっぱい歩いて、その後、プラネタリウムに行きました。プラネタリウムでは、少しねてしまいました。星について勉強しました。

3日目に、また海に行つて、少し泳いで、ビーチバレーをしました。ぼくはまた、カブホリデーを楽しくやつて、おもいきり遊びたいです。



一番楽しかったこと

しか 伊藤 愛望

私が、1年間で、一番楽しかったことは、スキーです。私は、スキーが苦手でした。でも、スカウトのみんなで行つたスキーで、とっても好きになりました。

最初は、全然すべれなかつたのですが、隊長や、小島さん、いろいろな人に教えてもらい、「ちょっとこわいなあ?」と思つていたので、やり始めたら、とてもおもしろくなりました。

私には、とても心にのこつていることがあります。それは、大人や年長スカウトのみなさんが、私たちのために、かまくらを作つてくれたことです。すごくうれしくて、まだおぼえています。なかなかたいげんではないので、また行けるといいなと思います。

楽しいうらな

しか 飯田 愛香季

このあいだは、すごく楽しかったです。

一番たのしかったのは、海で貝をひろつたことと、それを食べたことです。私は、貝がすきなので、海でとつた貝は、すごく、すごく、おいしかったです。また、食べたいです。星のしんわもしらべました。すごく勉強になりました。

2日目は、いっぱいあるいて、つかれてしまつたけど、すごくいい運動になりました。

カブホリデーは、すつごく楽しかったです。また、ぜつたい行きたいです。

楽しかったカブホリデー

しか 鈴木 来夢

カブホリデーで、ちょうしに行きました。

はじめは、海のみわりをさんぼして、海で泳ぎました。

いろいろな貝をとりました。楽しかったです。

カブホリデー

うさぎ 石毛 大晴

夏休みにカブホリデーに行きました。旭えきから、ちょうしえきまで電車で行きました。そこから、民宿まで、歩いて行きました。すつごくつかれたけれど、がんばつて歩きました。とまつた民宿は、ぶんじという



ところでした。民宿についたら、2日目に、キャンプファイヤーにやるげきを考えました。つぎに、海でおよいだり、貝をとつたりしました。

2日目は、民宿から、海まで歩いて行き、写真を撮りました。それから、ちょうしの子の文化かいかんまで歩いて行きました。そこで、プラネタリウムを見ました。だけどねてしまつて、ぜんぜん見れませんでした。見れなくてざんねんでした。文化かいかんで、おべん当も食べました。夜にげきもしました。

3日目に、もう1回海に行きました。それから電車から電車でかえりました。



ボーイ隊

一年間をふり返って

トナカイ班長 熱田 敏信

私はこの一年間、班長として活動してきました。最初のうちは、班長として自信がなく班をまとめられるか不安でした。それまでは、命令を出して動かしたり、連絡網をまわすなど、とてにがてでした。

隊集会の反省の多くが、みんなが時間を守らない。作業が遅いなどの時間関係が多くを占めていました。遅れてしまう原因は、やはりおしゃべりが多かったことと朝や休けいの時にまったりしすぎることでした。夕食が21時、22時になってしまうこともありました。これからは、こんな遅くに夕食を食べることはないようにしてほしいです。

ですが、班長をしていてうれしかったことが半年ほどたってから今まで続いてきたことがあります。食事のときに、「班長やりますよ」と言いつて食事をよそってくれたり、デザートが余っていると班長特権でくれたりしてくれました。8月のキャンプでは、私になにもしなくても食事を作ったり、洗い物をしてくれたおかげで楽ができました。班長やってよかったし、ボーイを続けていてよかったという一年間でした。



一年を通して

トナカイ班 高石 晃宏

僕はこの一年、2013年は次長会計を務め、2014年は記録と会計を務めさせていただきました。

この一年間は後はいもできて、自分が一番下では無く教える立場と教えられる立場、両方の立場を経験しました。

次長では班長に次ぐ重要なことで最初はとてにがちようしました。班長が一度欠席だったときも無事に終えることができてとてもうれしかったです。

実は2年目で次長になるとは思わず、とてにがちようしました。

僕がこの一年で一番思い出に残ったのは8月の長期キャンプです。僕は1日おかれて行ってトレッキングができなくなって悲しかったです。

ですが、清里駅にみんながむかえに来てくれてとてもうれしかったです。

2日目はハイキングと釣りに行きました。ハイキングではまず「花子とアン」の舞台を見に行きました。

天候が悪くて、山はあまり見えませんでした。その後駅に行つてソフトクリームを食べました。とてもおいしかったです。時計台も見えました。

その後電車に乗って日本一高い駅、野辺山駅に行きました。行く途中にアンテナも見えました。とても大きかったです。野辺山駅ではとても安い野菜が売っていました。ソフトクリームを食べた人もいました。ハイブリッドの電車も乗れて楽しかったです。

一年間活動できて、とてもうれしかったです。



楽しい3泊4日のキャンプ

トナカイ班 高木 孝一

僕は、3泊4日で山梨県清里にきました。キャンプ場は標高千メートル以上あるところにありました。キャンプ場の周りは、木がいっぱいあって新鮮でした。しかし、驚いたのは、トイレが思ったよりきれいだったことです。もっときたないと思っていたのですが、こまめにそうじしてありました。



2日目はトレッキングをしました。途中で飯盛山に登りました。頂上からの景色は、絶景でした。しかし、帰り道足が痛くてつらかったです。

3日目は、川で釣りをする予定でしたが、川では魚が釣れないと聞いてがっかりしました。帰り道で学校でトイレを借りました。その学校はもう2学期が始まっていたそうでした。

す。そして3日目も同じく足がつかれました。

4日目が最終日です。山梨県から千葉県に帰るとき、なぜか千葉がいつもよりなつかしいという感じがしました。

この3泊4日のキャンプで学んだことは、野犬対策をちゃんとしないと後始末が大変だということ、設営とてつ營がないと、本当に楽だということ。この夏の3泊4日のキャンプを今度は、海でやってみようと思います。



一年間をふり返って

トナカイ班次長 林 亮多

ぼくが一年間を通して学んだことは準備の大切さです。

それを実感したのは8月、八ヶ岳方面へ行ったとき3日目のプログラムでかなり歩きまわったとき、くつ下のサイズがきつく、素早くはけずそのまま歩きまわった結果、案の定足の指の皮がむけ、とても痛かったです。

また別の登山のときは、ストックをリュックに入れっぱなしにして、ころんでしまいました。先の二つの出来事から、準備の大切さを痛感しました。ですが先の二つの事のように、皮がむけたりころんだりするくらいなら、少しバンソーコーをはいたりすればなおりますが、命に関わるような重大な事故につながってしまうと困ります。なのでぼくは、日ごろから物や備品の準備だけでなく、心の準備や判断する準備が必要だと思いました。

なぜなら、そのような準備をしておけばいざというときにパニックになつたり正しい判断ができなくなつたり、そういう危機的なきをむかえずに、すむからです。また、正しい判断をすれば、次のキャンプや、ハイキングなどの準備に活かすことができますからです。

そのようなことをふまえ、ぼくは準備をすることが自らの命を守ることにつながると感じました。

最後に、ぼくは前にのべたことにしたがって、きちんと準備ができる人に、スカウトになることができれば、と思うことができました。

一年を振り返って

トナカイ班 菅谷 光

ぼくは、この一年をふり返ると、いろんなことを少しずつ学べました。その中で一番楽しかったことは、山梨県立八ヶ岳少年自然の家で、キャンプしたこと。山に登る時は、すぐきついで、頂上についたら富士山がよく見えて、しかも待ちを見たらすごく高い所だなーと、実感しました。

また、道じゃないところを目印をたどって進むと、思っていたときじやなかったけど川遊びののができて楽しかったです。

そして昼食を食べてからつりをする場所へ向かったけどなかなかたどりつけずがっかりしました。



活動をふり返って

イーグル班班長 小川 航輝

自分は四年間ボーイスカウト活動をやってきました。入隊した時は不安な気持ちでいっぱいだった。でも先輩たちなどに助けてもらい経験を積み重ねてきた。それから6年生になり、バスケの練習などが多すぎて欠席が多くなってしまった。できる限り参加しようと思っていたが練習に重なったりしてしまった。



それから、中学に入り、やっとボーイスカウトの活動にも行けるようになった。でも、ケガなどが多くて最初の方はあまり参加できなかった。全然ボーイスカウトの知識が身につけていなかった。そして、中学2年になった。今年

は日本ジャンボリーがある年だと気づいた。色々な経験を積み重ね日本ジャンボリーに参加することになった。最初、8泊9日間と聞いた時ビックリした。あつという間にジャンボリーも終わり出席率が上がってきた。3年生になり、班長という重大な役務をやることになり、自分にも自信がついてきた。最初はみんな言うことを聞いてくれたのですが、自分分的に辛い時もあった。このままじゃダメだと思い、次の隊集会では反省を活かしてみんなをまとめられたと思った。その時はすごくうれしかった。自分のこのイーグル班は最高だと感じた。

次長などに助けってもらいながらもこの班長という役務を平成26年この夏で終わった。寂しいという思いとやっと終わったという思いがあった。このまま後輩スカウトにも頑張ってもらいたい。ベンチャーに進進しても頑張りたいと思います。

一年間の総括

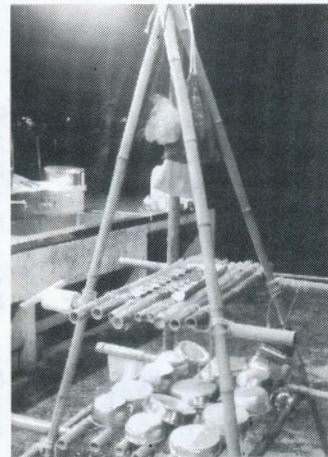
イーグル班次長 小林 陸

私は、この一年間を通して、役務と責任について改めて考えさせられました。

まず、次長という立場は班長を補助するものです。これはつまり、自分が次に班長になる時のために学習できることだと思えます。

そうして気づいたのが役務の大切さです。私は、役務が班に結びつ

ていると考えます。一人一人が与えられた役務を全うすることは、経験を積んだ班長の願う班のビジョンを具現化することだと思えます。そして、そのための班員であることを自覚し、その役務に責任を持てば、よい素晴らしい班になると思えます。



さらには、その責任が経験になって、新しい班長を生み出すことになりま

す。こうして班をより良くしていけば、スカウト活動はより有意義なものになるものと思えます。

私も、スカウト活動を日々向上させるため、次の一年間頑張ります。

楽しかった八ヶ岳キャンプ

イーグル班 来栖 孝明

この一年間で思い出に残っているのは、やっぱり夏のキャンプです。前日まで、宿題が終わらなかつたで行けるかどうか、わからなかつたので、あきらめていました。

でも二日前の夜、みんなと久しぶりに会ったらやっぱり行きたくなくて、苦手な感想文をなんとかやって、出発の前日に仕事を終わらせて、何

とか行けるようになりました。

8月23〜26までキャンプでした。3泊4日でした。1日目の楽しかったことは、夕食を食べた時とシャワーとねることでした。すごいと思つたのは、陸君が一人で乾燥台を作ったことです。ほくもできるようにがんばりたいです。

2日目の楽しかったことは、トレッキングの時に楽しかった。バナナシェイクがとつてもとつても楽しく作れました。でも食べれなくて残念でした。イーグル班のみな様の大切なバナナを食べれなくなるほどシェイクしてしまいました。申し訳ございませんでした。今度は、この経験を生かして、食べれる程度にして作ろうと思います。

3日目は、班行動で、ホワイト林



林に行きました。そのホワイト林は、班長のお兄さんがお世話になったところでした。そこで昼食にしたら、オレンジを切ってくれました。とてもおいしかったです。

4日目は、ただ電車に乗って帰るだけだと思つたら孝一君が昼食の弁当をこぼして、トナカイ班から少しづつわけてもらい、なんとかなつたそうです。

色んな事があって、天気もあまり良くなかつたですが、ほくにとつては、楽しい思い出に残るキャンプでした。

一年間をふり返って

イーグル班 大門 泰之

ぼくは、一年間をふり返って学んだことがたくさんあります。例えば竹とブルーシートとひもがあれば、テントが作れてしまうと言うことです。このテントは、虫が入ってこないようにどうするか、狭いスペースで足をのばしてねるには、どうすれば良いかなど多くの工夫をしました。ポイイスカウトでは、工夫が大切なんだなと思えました。

他には、自然のすばらしさです。3泊4日の八ヶ岳のキャンプで、テントサイトが、とても自然に恵まれている場所で空気がおいしいと言言言葉は、まさにこの事だったのだなと思えました。2日目の登山の昼に渡された高原レタスが、とてもおいしかったです。旭のレタスとは比べ

物にならないくらいおいしかったです。そのまま食べても、とてもおいしいです。ぼくは、陸次長とふたりでレタスを丸かじりました。このとてもおいしいレタスも自然の力で作られているのかなと思いました。ぼくは、まだ他にも色々学んでいない事もたくさんあると思います。なので、これからの活動でさらに色々な事を学んでいきたいです。

一年間の活動をふり返って

イーグル班 沖 駿介

僕が楽しかった活動は、うなかみでのキャンプでした。ぼくはよく用事がありあまり来れなかったけど、このキャンプでは、朝料理を作ったりテントのたたみかたなどをしました。これが大きなキャンプだったと



思います。ひさしぶりにやったけど、楽しく、みんながやさしく教えてくれたので、よかったです。

他にも、ボーイになると班集会などみんなで会議をしたりしました。カブだった時よりも大変でしたが楽しかったです。

一年間をふり返って

イーグル班 伊藤 優花

今まで活動して、一番印象的だったのは、7月12日のキャンプです。

キャンプファイアーではとても盛り上がりました。夕食は遅くなってしまったけれど、マーボードウフがおいしかったです。私の切ったぐちゃぐちゃのトウフとは違って、りくさんが切ったトウフの方が断然キレイで、尊敬したのを覚えています。

残念だったことは、大好きな登山が二回とも行けなかったことです。本当に行きたかったです。

その他には、クロスカントリーがとても楽しかったです。班の皆といっしょに雪山を登るのはとてもおもしろく、小動物等の足あとや食べあとなどがあり、見つけた時は、「あ、近くにいたんだ」と、少し興奮していました。ただ、スギ花粉の私は、若干つらかったです。

私はボーイスカウトをやめても、三つの誓いを忘れず、また、その精神を忘れないように、新しい夢に向かって努力します。本当にありがとうございました。



ボーイ隊の動き

今年度はカブ隊からの上進スカウトがいなかったために班体制の見直しをし、9月からは一班体制で活動を行います。

また、来年は第23回世界ジャンボリーが開催され、それに向けての訓練などが予定されていますが、まだ日程が出ていないために隊集会の予定が変更となることが予想されます。

波乱続きのボーイ隊ですが、良いチームワークを育てて楽しい活動にしていきたいと考えています。

世界ジャンボリーでは旭一団のスカウトはレベルが高いと言われるように精進しましょう。

ボーイ隊のプログラム

- 4月 サイクリング・釣り
- 5月 テントなし泊
- 6月 トレッキング
- 7月 訓練キャンプ
- 8月 隊キャンプ
- 9月 歓迎キャンプ・ちかいの式
- 10月 オリエンテーリング
- 11月 結索法・オリエンテーリング
- 12月 安全・野外料理
- 1月 気象観測・天体宇宙
- 2月 雪上ハイキング・スキー
- 3月 読図・ハイキング

ベンチャー隊

3CVにて

ベンチャー隊 来栖 輝明

私は、8月1日から8月10日の期間中に第3回千葉県ベンチャー(3CV)に参加しました。3CVとは千葉県内に複数の活動基地を設けた各基地でベンチャー年代の特性に合った高度な野外活動と専門性の高い活動につながるプログラム展開を実施し、ベンチャースカウト相互の意見交流を通して、自らの意思を表明し、自身の活動のボトムアップを図るために企画された活動です。

活動基地は5ヶ所あり、各基地で活動内容が異なります。一人乗りグライダー体験やかだ作りなどがある中で、私は小見川基地の「カヌー・水泳」を選びました。理由としては、ボーイ隊の頃にカヌー体験をしていたので、もう一度やってみてと思った事と、各項目をクリアするとカヌー章、水泳章を取得できるからです。

8月3日から8月6日までの4日間を各地区から男子7人、女子2人の合計9人が小見川活動基地(小見川少年自然の家)に集まりました。初日に山田町B&Gプールに行き、水泳章の実技を行いました。実技の内容は「50mを55秒以内に泳ぎ得る」

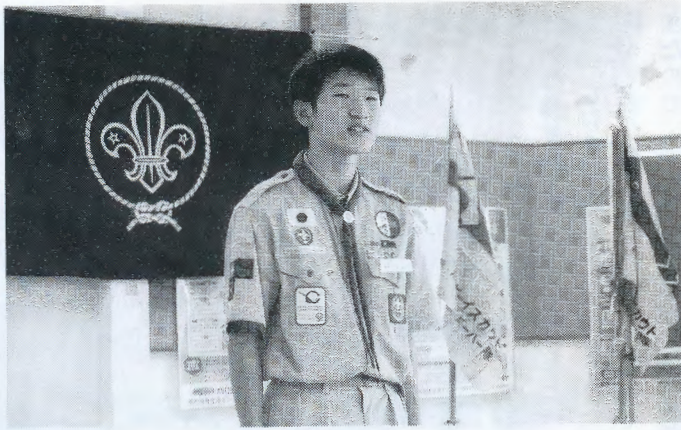
と「500m以上を泳ぎ続ける」の2つですが、プールで泳ぐのは小学校以来ですので事前にプールで泳ぎたかったのですが、夏休みに入って学校の訓練センターに参加したりと、なかなか時間がとれず、ぶっつけ本番で少々ドキドキもんでした。持ち前の まあ、なんとかなるさ! というポジティブ思考でのぞみました。50mの項目を先に行い、見事54秒というギリギリのタイムでクリアできました。休憩を取った後、500mを泳ぐことになり、先に女子スカウトがチャレンジしました。



女子スカウトが泳いでいる間、だんだん緊張してきて、体がガクガクと震えていました。最高でも200mしか泳いだことのない自分が倍以上の500mも泳ぎ続けられるのかとても不安でした。そんなことを考えているうちに女子スカウトが2人ともなんなく500mを泳ぎきってしまったので、ここでやらなきゃ男がすたるよ、やるっきゃないよと覚悟を決め飛び込みました。

スタートして100mは順調でしたが、200mから疲れてしまい、途中でお花畑が見えてきて、プールの水をガブガブ飲み、鼻に水が入りながら根性でなんとか500m泳ぎきることができました。もう、感無量です!! そして、どうにかこうにか

水泳章とカヌー章がとれました。後輩たちに一言、どんなバザマでもいいんだよ。最後は気力と根性でなんとかなる。そして、あつという間に暑かった4日間がすぎてしまいました。ベンチャーになって、なかなか仲間とのキャンプができずにいたので、久しぶりのキャンプはとても楽しく、おまけに技能章を一度に2つもとれた有意義な4日間でした。考査をしてくださったリーダーの皆様、本当にありがとうございます。



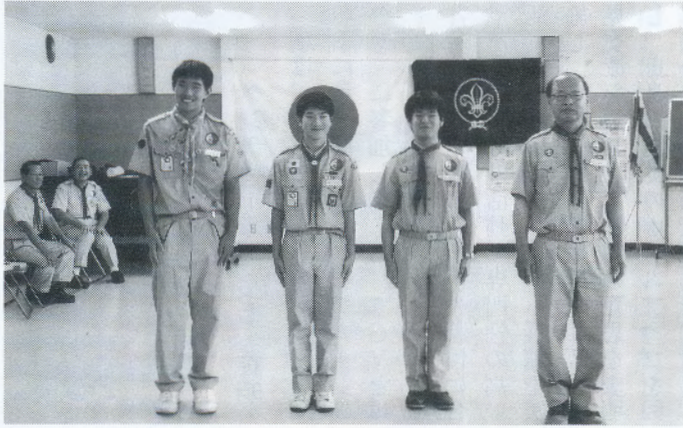
受賞の報告をする来栖君

ローバー隊

16年目の新たな役割

ローバー隊 吉田 耕太郎

私は平成10年にビーバー隊に入隊した。幼少期の私は精神面でも技能面でも軟弱なスカウトで、日々の活動の中では、今日に至るまでに何度も逃げ出したくなることがあった。しかし第18回千葉県キャンポリー(富津市)、第14回日本ジャンボリー(石川県珠洲市)と経験を重ねるにつれて、辛さを楽しみに変えていく



ようになり、現在はローバースカウトとなった。また、第3回千葉県ベントチャー(香取市)をきっかけにベントチャーリーダーとしての活動を開始した。

先輩スカウトやリーダーは、常に論理的な思考をしながら、各々の技能を最大限に活かし、班や隊をまとめていた。特に私が年少スカウトだった頃は、私の性格や覚えの悪さを考慮し、あきれながらも優しく接して下さった。そのような助けもあり、次第にスカウト活動を楽しめるようになってきた。そしてボーイ隊の後半頃からは、自分の技能に対し「このままではいけない」「悔しい」と感じるようになった。また彼らのように高い技能を持ち、臨機応変に活かせるようになりたいと思うようになった。

私が今日までスカウト活動を継続できたのは、熱心に指導して下さいた先輩、リーダー、そして辞めたいと思った時にも考え直させてくれた親がいたからだ。そして今後は感謝の気持ちを忘れず、技能を向上させながらスカウトとの対話を大切にできる指導者になりたい。



保護者の声

ビーバー隊

体験に参加して

野本 洋平

知人からビーバー隊について教えてもらったことがきっかけで、5月の「電車に乗って出かける」から体験させて頂きました。愛珠は恥ずかしがり屋な性格なので、最初は初対面の皆様に挨拶もきちんとできず、でしたが、体験の内容はとても楽しんでる様子でした。

一番楽しかったのは?と愛珠に聞くと「どれも楽しかったー!」と言っていました。やはり記憶に新しい「ザリガニ釣り」だそうです。親子で本当に楽しむことができました。前回の隊集会で「ビーバー隊に入る」と自ら言っていたので、この度入隊することを決めました。これからの隊集会で様々な体験を通し、多くのことを学んで欲しいと思っています。皆様、これから親子共々宜しくお願い致します。

ビーバー隊の一年

久保田久実乃

息子がビーバー隊に入ってから、早くも一年が経とうとしています。正式な入隊の前に、何度か体験という形で隊集会に参加させてもらっていました。初めての隊集会するとき



から物おじすることもなく、初めて会ったお友達とも早くも打ちとけて、とても楽しく活動していました。終つてすぐに、次はいつ?と聞いてきたので、よほど楽しかったのだし

よう。ボーイスカウトは、学校や家庭だけではなかなか体験できないことが、隊長、リーダーの皆さんの元、なかまと思えます。学校も年齢も異なる集まりの中で、クラブトを作ったり、料理をしたり。きつと自分の思うようにいかないこともたくさん出てくるでしょう。そうした経験をたくさん重ねて、息子も親である私も成長していけたらと思います。一年間、いろいろな活動をして下さり、ありがとうございました。

ボーイスカウトに入団して

長嶋 敬子

息子の亜門が入団したのは一年生になる少し前でした。自由人の息子が少しは集団での活動に楽しさを感じてくれるのではないかと思っていたので入団でしたが、最初のころはとにかく集会に行くのを嫌がり、連れて行くのも大変でした。最近やっと慣れてきたようです。

息子をボーイスカウトに入団させたものの、全く興味を持っていない様子の彼を見てみると、無理に連れて行くのもどうなのかと考える日もありました。

そんな時でした。彼が下校途中にゴミを拾って帰ってくるようになりました。今まではそんな事はありませんでしたから、

「良い事をしたね。」と沢山ほめたところ、

「あたりまえのことでしょ。亜門はボーイスカウトなんだから。」

と言った時にはとても嬉しかったです。彼なりに色々学んでいるのだと思います。

私は今年度よりガールスカウトの指導にあたっていますが、指導側になりますと、ビーバー隊の隊長をはじめとする指導者皆様がどれほど子供達の成長を思っ活動させて下さっているのかが身にしみてわかるようになります。これからも息子が活動を通

して成長する姿をみるのが楽しみです。

カブ隊

カブホリデー

西 陽子

今年は、デンリーダーになり、2泊3日、スカウトとみんなと一緒に活動をしました。磯遊び、海水浴、地図を見ながら銚子の市内を3時間もかけて歩いたり、銚子電鉄に乗ったりと、普段はできないような体験ができました。



スカウトのみんなと一緒に活動することで、家庭では見られない息子の成長も見ることができました。

デンリーダーは、大変な所もありますが、今しか息子と一緒に活動もできないと思うので、共通の思い出作りができたらいなと思います。隊長さんを始めとして、関係者のみなさま、いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

ボーイ隊

一年間の活動を振り返って

沖 実知子

あまり班集会・隊集会には参加できなかった一年で、中途半端に参加している我が子を見てみると、活動を辞めてしまった方がよいのでは、と考えることもありました。しかし周りの方々が温かく迎えて、サポートして下さったおかげで、続けて来られました。ありがとうございます。

活動での思い出は、海上キャンプ場での1泊のキャンプです。夕飯の準備から、自分達で調理をして出来上がった料理をみんなで食べることは、普段の生活ではなかなか経験できないことです。楽しい思い出になったと思います。

最後に、スカウト活動を支えてくれるたくさんの方々に感謝致します。これからも宜しくお願いします。

ボーイ活動と部活

高石 洋子

小学校入学後にビーバー隊に入団し、カブ隊・ボーイ隊と気がつけば中学生になっています。その都度年代の違う仲間と行動し、助け合い協力して活動を行うということが身に付いたかなと思っています。

中学に入り部活が忙しくて今までのように活動に参加できなくなってきました。試合には出たいけど、隊集会も楽しそう。結局は部活を優先し、隊集会の様子を聞いては「出たかったな。」と残念がる繰り返しになっています。

家庭では体験させてやれないキャンプや山登り、奉仕活動等これまでに様々な経験をさせていただきました。保護者としても、活動の度に先輩スカウトの成長に感心し、年下スカウトの元気に力を分けてもらい楽しませていただいています。

部活との両立はとても大変な事だと思います。迷いながらも出来るだけ長くスカウト活動が続けて、広い視野を持った大人に成長して欲しいと思っています。





スカウト の日

9月15日のスカウト日には、毎年「カン
トリー大作戦」を行います。

今年も市内を歩いて、拾い集めた空き缶
117個、ペットボトル56個の他、スカウト
全員でゴミの分別も行いました。



編集委員

団 委 員	相澤 雅則
ビーバー隊副長	大門 弥生
カブ隊副長	鈴木 智子
ボーイ隊副長	高橋 不二夫
ベンチャー隊長	吉田 俊郎

